

俳句を写真画像と共に楽しむ <奇数月28日発刊>

しゃらくかい 写楽同会

令和5年秋の号 [vol.83]
(9・10月)

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

投稿先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2023 Sharakukai



イメージ写真:千泉
秋(9・10月)の兼題「空」 出題:千泉

写真俳句の部

(掲載ランダム)



あかあか
月今宵漆黒の空明明と
(季語:月今宵=秋) 千泉



入道雲そろそろ退場願いたい
(季語:入道雲=夏) 昼寝覚



しゅうてん るり まぶ しろいちわ
秋天の瑠璃に眩しき白一羽
(季語:秋天=秋) 準坊



光芒に雲せめぎ合う晩夏空
(季語:晩夏空=夏) 陽閑



芋虫や空へ舞うのはいつのこと
(季語: 芋虫=秋) 久芽



とび巡回秋天の無限ひとり占め
(季語: 秋天=秋) 福来雀



昔からどちらが海か夏の空
(季語: 夏の空=夏) 梵木



名店も秋夕映えに沈みゆく
(季語: 秋夕映え=秋) 池福楼



空映す^{ちとう}池塘の水面秋初め
(季語: 秋初め=秋) iSAMU

俳句の部

(掲載ランダム)

鬼ごっこ鬼は雨雲あきしぐれ 福未雀 (季語:あきしぐれ=秋)

ジンジンと暑さふりまく夏の空 梵木 (季語:夏の空=夏)

いく筋も飛行機雲や秋の空 千泉 (季語:秋の空=秋)

黄昏て釣瓶落しの空しずか 準坊 (季語:釣瓶落し=秋)

鎌やすめ腰を伸ばせば秋高し 久芽 (季語:秋高し=秋)

午睡覚め窓の青空に真偽問う マム (季語:午睡=夏)

秋の空ビルをかすめて着陸機 昼寝覚 (季語:秋の空=秋)
[羽田空港への進入路変更により、新宿高層ビルのすぐ上を着陸機が通過するようになりました]

秋の空濃く海分けの帆は一つ 陽閑 (季語:秋の空=秋)

墨痕の「夢」秋空に掲げたり 池福楼 (季語:秋空=秋)



季語抜粋

秋天 (しゅうてん) = 澄み切った秋空をいう。秋は長雨に見舞われることもある一方、からりとした晴天に恵まれることも多い。【秋】

午睡 (ごすい) = 昼寝・昼寝覚・三尺寝 (仕事場で短時間寝るのを三尺寝という。) 【夏】

秋高し (あきたかし) = 秋は大気が澄み、晴れ渡った空が高く感じられる。【秋】

月今宵 (つきこよい) = 名月・明月・望月・満月・今日の月・三五の月・十五夜・芋名月
旧暦八月十五日の月。【秋】

芋虫 (いもむし) = 毛のない蝶蛾の幼虫の総称。植物の葉を食す害虫で、揚羽蝶の幼虫は、柑橘類に産み付けられた卵が孵化したもので、柚子坊ともいう。【秋】

秋時雨 (あきしぐれ) = 晩秋に降る時雨のことで、うら寂しさが漂う。【秋】 ※時雨【冬】

釣瓶落し (つるべおとし) = 「秋の日は釣瓶落し」というように、秋の入日は一気に落ちていく。この譬えの「釣瓶落し」だけを季語として使うようになった。【秋】

千泉

コロナ去り新たなコロナ出現す [いつまで続く、切りが無く]

涼しさと暑さに戸惑う今年また [年々春と秋は短くなり]

昼寝覚

造れどもボンに届かぬ歌ばかり [才能の有りも無しも皆凡人]

福朱雀

万歩計目標落とし満足計 [3000歩連日画面は紙吹雪]

準坊

アレじゃないアレだよアレだそうアレだ [意味不明でも伝わる]

池福楼

敬老会くすり飲む手がシンクロシ [食後のルーティン]

マイナンバー何度聞いてもナンマイダー [補聴器が必要]

陽閑

勘違いおっちょこちょいも年の功 [経験が豊かになると色々出ますね]

菜園の育ち待てずにスーパーへ [せっかちも年の功?]

技のうち世界陸上ビジュアル化 [記録より記憶に残るファッション]



冬号兼題「鳥」

イメージ写真 陽閑

●陽閑さんより冬11・12月号の兼題を「鳥」と出題していただきました。隔月という課題になりますが季節は幅広く捉えて自由に発想を広げて作句をお願いします。

締め切りは令和5年11月20日です。

●写楽句会にご意見、ご希望等ございましたらお知らせください。

下記のiSAMUさんのホームページから「写楽句会」をクリックして頂くと写楽句会のバックナンバーが閲覧できます。

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

写楽句会 連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com

© 2023 Sharakukai

冬(11・12月)の号 兼題「鳥」